

私立大学図書館協会東地区研究部
2007年度第2回運営委員・研究分科会代表者合同会議議事録

日時：2007年11月15日(木) 15:00~16:15

場所：早稲田大学 総合学術情報センター 1階会議室

出席者：研究分科会代表者

[分類] 藤倉恵一(文教大学)

[逐次刊行物] 岡田光世(東邦大学)

[パブリック・サービス] 東家由朗(上智大学) 副代表：水野里永子(文化女子大学)

[図書館運営戦略] 櫻井友美(国土館大学)

[レファレンス] 三上 彰(桜美林大学) 副代表：中山紗恵子(駒澤大学)

[相互協力] 清水ゆかり(杏林大学)

[西洋古版本] 金田陽治(成城大学) 副代表：五島正美(中央大学)

[企画広報] 清水弥生子(東洋学園大学)

[和漢古典籍] 山田裕之(多摩美術大学)

[北海道地区] 京谷正博(札幌学院大学)

[メタデータ] 鈴木 学(日本女子大学)

[情報リテラシー教育] 内堀勇二(立教大学)

[L-ラーニング学習支援システム] 阿部潤也(東京歯科大学)

研究部運営委員

相田 勉(国土館大学) 加藤早苗(早稲田大学) 川越智之(駒澤大学)

古山悟由(國學院大学) 佐々木真理子(共立女子大学) 佐藤裕子(慶應義塾大学)

泉 宏紀(東京理科大学) 山下智美(帝京大学)

丸本 操、小野昭美、関 達朗、久世泰子(研究部担当理事校・東京経済大学)

議 題：

1. 夏期研究合宿(集中研究会)実施報告について

月例会担当理事校より、資料1-1~14に基づき夏期研究合宿(集中研究会)の実施状況について報告があった。

2. 2007年度研究分科会報告大会について

研究部担当理事校より、資料2-1~4に基づいて研究分科会報告大会当日の進行について説明があった。

3. 運営上の諸問題について

研究部担当理事校より、企画広報分科会より提出された「運営上の問題点」(資料3)について説明があり、質疑応答を経て下記のように対応することが了承された。

・パスファインダーバンクの管理については、研究部で引き取ることはできない。また、他の分科会に移管することも難しいので、まず企画広報分科会に持ち帰り、パスファインダーバンクを立ち上げた当時のOB会員との話し合いを通して、企画広報分科会としてどのように取り扱うか検討してもらうこととする。運営委員会としてはその結論を待ち、その上で再度の検討が必要であれば改めて審議する。

4. 新規研究分科会受付募集について

更新担当理事校より、新規研究分科会受付募集について、11月15日現在、申し込みは1件もない旨報告があった。

5. 2008/2009 年度研究分科会会員募集について

更新担当理事校より、2008/2009 年度研究分科会会員募集について、11 月 15 日現在、メタデータ分科会と資料組織分科会が廃会予定であるため募集は行わないことのほか、各分科会代表者からの連絡は特にない旨報告があった。

6. その他

- (1) 研究部担当理事校より、資料 4 に基づき企画広報分科会と理工学分科会（休会中）の代表者の交代について報告があった。
- (2) 研究部担当理事校より、今年度実施したアンケート調査の報告書に価格をつけて販売することは可能か、という質問が相互協力分科会からあった旨報告があり、運営委員会としては下記のように判断するということが提示された。
 - ・これまでも例があることなので、価格をつけて販売することについては認める。
 - ・ただし、特別助成金を申請して作成することになるので、東地区部会加盟館については無料での配布とするのが妥当である。これに基づく審議の結果、運営委員会の判断を相互協力分科会に持ち帰り、価格をつけて販売することに関しては再度検討するということが了承された。
- (3) 分科会代表者より、特別事業については事前申請が筋ではあるが、臨時に何らかの活動を行った場合の事後承認は可能かどうかという質問があり、審議を行ったが、予算に基づいた活動が基本であり、それ以外の活動については事前に申請する必要があるので、事後承認は望ましくないとの了承を得た。

以上